

一 般 質 問

令和7年第5回(9月)三股町議会定例会

1

発言 順位	質 問 者	質 問 事 項	質問の要旨	質問の 相 手
1	中原 美穂	1 五本松交流拠点施設整備事業におけるプロポーザルの公正性・競争性と、撤退企業の見解を踏まえた見直しの必要性について	① 今回のプロポーザルでは応募企業が1者にとどまる可能性が高いとされていますが、この状況を町はどのように受け止めているのか。PPP事業の前提である競争性の確保、公平性・透明性の観点から問題はないのか、町の見解を問う。	町長
			② 東京の事業者が撤退したとされるが、その背景について町として正式なヒアリング等を行ったのか。撤退理由をどのように受け止め、今後の事業運営にどのように反映させるのか、町の考えを問う。	町長
		2 伝統芸能について	① 現在の補助金制度は申請や報告書の負担が大きいとの声がかかっているが、文化活動の性質を踏まえ、より柔軟な町民の負担軽減の観点から申請・報告手続きの簡素化や柔軟な制度設計を検討できないか。「助成金」の形に見直す考えはないかを問う。	教育長
			② 年間の補助額は33,000円、公民館助成金を加えても63,000円程度と聞いている。現場からは、「昔は祭りの後の『庭もどし』でご祝儀の収入があったが、今は『庭もどし』をしても利益が上がらないため、実施していない」そのため、収入は補助金だけであり、現在は運営が困難との声がかかっている。現場の内容を踏まえ町として増額や支援方法の再検討を行う考えはないかを問う。	教育長
			③ 文化会館で実施される『芸能発表会』は、保存会にとって大きな励みになっているが、出演の機会に限られ、すべての団体が参加できない状況である。町として、各芸能団体が参加できるように、年度当初から町が調整し、複数団体が発表できる仕組みへ検討改善することはできないかを問う。	教育長
			④ 担い手不足が深刻化し、地区の人員だけでは編成が困難となり、他地区の協力を得ている団体も見受けられている。町として、郷土芸能を未来につなげるため、現状の課題をどのように受け止めているのか。さらに、学校教育や地域活動と連携した後継者育成、担い手支援の具体的な取り組みについて、今後の方針を問う。	教育長
			⑤ 郷土芸能保存会補助金交付要綱は、令和7年3月31日で効力を失うとあるが、その後の補助金制度の扱いについて、廃止されるのか、それとも見直しのうえ継続されるのか、町の方針を問う。	教育長
			⑥ 町長は、2023年12月「郷土芸能は、歴史の産物であるとともに、集落及び町の重要な伝統文化であることから継承していくことが重要であり、郷土芸能は、本町のまちおこし・地域おこしの重要な資源」と答弁されたが、町として、どの団体がどの程度の人員不足なのか、現状を把握されているのか。実際に活動できなくなった芸能や、休止している団体があるが、その解決に関して、町はどのように考えているのかを問う。	町長 教育長

一 般 質 問

令和7年第5回(9月)三股町議会定例会

2

発言 順位	質 問 者	質 問 事 項	質問の要旨	質問の 相 手
2	上西 雅子	1 町独自の公共交通サービスについて	① 今年度5月に導入したバス予報システムについて、現段階の評価は。	町長
			② 町デマンドバスの今後の運行計画は。	町長
			③ くいまーの路線について、新しい路線を増やす等、今後見直す計画はあるのか。	町長
			④ くいまーの路線表を、配布するだけでなく、他の公共交通機関と合わせて各所に掲示して欲しい、との声が聞かれる。その事について町の見解は。	町長
			⑤ くいまーの待合場所に屋根が欲しい、との声が聞かれるが、その計画はないか。	町長
			⑥ 毎週開催される介護予防の取り組み「ピシャトレ」に、毎週約180人が参加をしている。近い将来免許返納を考えている人、周囲から参加を勧められいるが移動手段が無いため行けない人等の話を聞く。ピシャトレの開催日に合わせて、町の公共交通サービスを稼働させる事はできないか。	町長
		2 介護保険サービス事業所に対する支援策について	① 町内の介護施設より、食糧費等の物価高で、経営が困難になっている、との声が聞かれる。昨年度には、国から「重点支援地方交付金」が交付されたが、今年度は国・県からの支援策はないのか。	町長
			② 上記の内容に対する町独自の、何らかの支援策は考えられないか。	町長
			③ 介護事業所のうち、2024年度より訪問介護報酬の引き下げが行われ、全国の市町村で訪問介護事業所の減少が問題になっている。現在町内の介護事業所への影響はないのか。	町長
			④ 町独自で、介護事業所に対する訪問介護報酬引き下げ分の補填など、救済策は考えられないか。	町長
		3 災害時避難所のトイレ設置について	① 8/18付新聞記事にて、避難所の準備状況に関するアンケート結果で、県内の63%の自治体がトイレの設置数が政府の基準(50人に1基)に満たしていない事が判明した。わが町の状況は。	町長
			② 前回質問したトイレカーを購入し、各自治体との協力関係を図るべきと考える。そのことについて町の見解は。	町長
3	堀内 和義	1 防災機能を備えた多目的施設、蓼池自治公民館・児童館の建築について	① 蓼池児童館は昭和46年に建築され、54年経過しており老朽化している。防災機能を備えた多目的施設としての公民館・児童館の建築はできないか。 (1)木造の耐用年数は何年になるのか。 (2)南海トラフ巨大地震に対応できる耐震基準の建物なのか。	町長 教育長
			② 児童館と公民館は併用しており、午後からは放課後児童クラブが使用するため、自治公民館が自由に使えず不便をきたしている状態で、地区住民からのクレームが多く、自由に利用できる施設の要望書が提出されているがどのように考えているのか。	町長 教育長
			③ 蓼池地区は広範囲で世帯戸数も多く、人口の割には公民館としては狭く、今後も住宅建設は進む見込みでもある。世帯戸数・人口等に対応した施設はできないか。 (1)世帯戸数、人口等による公民館面積の基準はないのか。	町長 教育長
			④ 南海トラフ巨大地震の発生する確率も高くなっており、避難所としては6地区分館もあるが、分館までは遠く、地区内の高齢化も進んでおり、身近な避難所としての施設が必要である。公民館を防災センターとして建築する考えはないか。	町長 教育長
		2 町道勝岡・蓼池線の歩道整備について	① 町道勝岡・蓼池線は主要道路となっており、交通量が多く、蓼池児童館前は歩道整備もされてなく危険である。緑石のある歩道整備はできないか。	町長
			② 児童館敷地は町有地で土地買収の必要もない。早急な道路拡張と歩道整備はできないか。	町長

一 般 質 問

令和7年第5回(9月)三股町議会定例会

3

発言 順位	質 問 者	質 問 事 項	質問の要旨	質問の 相 手
4	堀内 義郎	1 細目川河岸の草刈について	① 細目地区の杉木水流・車場地域の農道に、細目川の右岸河川敷から雑草が侵入し通行の妨げとなる。定期的に草刈できないか。	町長
		2 農業施策について	① 石坂～井出口地域(細目川左岸沿い)農道の草刈はできないか。	町長
			細目地区の杉木水流・車場地域のイノシシなど鳥獣被害及び対策について ② (1)町内におけるイノシシなどの鳥獣被害の現状はどうか。 (2)鳥獣被害対策マイスター等の人材育成の取り組みについて、認定研修と認定者確保の現状はどうか。 (3)イノシシなどによる畦畔や農道への被害が確認されるが、罠の設置など駆除対策を行うべきではないか。	町長
			③ 長田地区の千才丸地域の農道整備と耕作放棄地対策について (1)以前から整備を要望している農道に沢から水が流入している状況である。土砂の除去や排水路の整備を行うべきではないか。 (2)付近一帯は耕作放棄地が広がっているが対策はとられているか。 (3)耕作放棄地について、畦畔を除去し耕地面積を広げ牧草などを植栽し、モデル地区として畜産農家等に貸し出す事は考えられないか。	町長
		3 防災・減災対策について	① 避難所の災害対応時の準備について、トイレの確保数と被災者1人あたりの居住面積の状況はどうか。	町長
5	楠原 更三	4 スポーツの振興について	① WBCチェコ代表の事前合宿受け入れについて、施設の改修など全力でサポートしたいとの事であるが、グラウンドの整備や合宿についての今後の取り組みはどうか。	町長 教育長
		1 中心市街地活性化について	① 五本松交流拠点開発の進捗状況の周知は十分に行われていると判断しているか。また、進捗についての問い合わせはどれほどあるか。	町長
			② 歩きたくなる中心市街地を創るハード・ソフト両面の具体的な計画は。	町長
			③ モデルとして考えている例は。	町長
			④ 中心市街地内にある次の跡地に対して、景観条例を通しての対応を含めて、事業者に対してのこれまでの対応と今後の対応予定。 (1)都城タクシー跡地 (2)社協跡地 (3)旧町立病院跡地	町長
			⑤ 県道33号線仲町部分の整備要望後の予定。	町長
		2 公共下水道事業について	① 直近の接続状況は。	町長
			② 事業が成り立っていくために必要な接続率と、目標としている接続率は。	町長
			③ 接続推進の現状は。	町長
			④ 接続推進を再検討する予定はないか。	町長
		3 町HPと文化財について	① 町民が見たくなるHPづくりの動きはあるか。	町長
			② 記録保存(アーカイブ)した文化財はいくつあるか。	教育長
			③ 記録保存した文化財を町のHPに載せてはどうか。	教育長
			④ 記録保存が必要であると思われる文化財はあるか。	教育長
			⑤ 今後、記録保存するための予算を計上していく考えは。	教育長

一 般 質 問

令和7年第5回(9月)三股町議会定例会

4

発言 順位	質 問 者	質 問 事 項	質問の要旨	質問の 相 手
6	新坂 哲雄	1 国道222号線牛ノ峠バイパスへの道路接続について	① 町中心部から国道222号線牛ノ峠バイパスへ道路接続は考えられないか。	町長
			② 今後、町の経済発展の活路となると思うが検討はできないか。	町長
		2 企業誘致について	① 企業側から立地環境が整っていないという声があるが、その理由は。	町長
			② 工業団地を設置する考えはないか。	町長
			③ 町内企業が町外に流失していることについて、町としてどう考えているか。	町長
		3 ふるさと納税について	① 現時点での寄付額は。	町長
			② 新しい返礼品の開発はどうなっているか。	町長
7	内村 立吉	1 小学校プール利用について	① 小学校の水泳事業で、維持管理費の削減や教員の負担軽減が目的で、校外プールを利用する動きが広がっているが、本町はどのように考えているか。	教育長
			② 本町の小学校6校(三股小、勝岡小、三股西小、梶山小、長田小、宮村小)について、学校別に、児童数、プールの建設年月日、現在のプールの使用状況はどうなっているか。	教育長
			③ 耐用年数の過ぎているプール、また老朽化しているプールについて、今後どのような対策を考えているか。	教育長
		2 ため池劣化状況調査について	① 災害時に決壊の恐れがあるため池の劣化状況調査の補修・改修計画は。また、宮田、前山、堂領、池ノ谷の状況は。	町長
			② ため池の所有者名義で不明な土地はないか。	町長
		3 新型コロナウイルス感染者数について	① 本町における新型コロナウイルスの感染者数は。また、何か感染対策は行っているか。	町長
8	田中 光子	1 RSウイルス感染症の予防接種について	データの情報収集について ① 町内の医療機関や保健所から、RSウイルスの流行状況に関するデータ、感染者数、年齢層、重症化の傾向を知りたい。 (2)このデータを定期的に収集・分析しているか。	町長
			RSウイルス感染症に関する啓発について (1)妊婦さんや乳幼児、高齢者、基礎疾患を持つ方など、重症化リスクが高い方々への予防接種の重要性について、町としてどのように啓発活動を行っているか。 (2)RSウイルスの症状や感染経路、予防方法について、広報誌やウェブサイト、SNSなどを活用して、町民にわかりやすく情報提供しているか。 (3)公衆衛生対策として高齢者施設、保育園、幼稚園、学校など、集団生活を送る施設における感染対策について、町としてどのように支援や指導を行っているか。 (4)子育て世代への支援:で乳幼児の保護者向けに、RSウイルス感染時の対応や、かかりつけ医への相談を促すような情報提供や相談窓口は設けられているか。	町長
			③ RSウイルス感染症予防ワクチンの公費助成はできないか。	町長
		2 がん患者のアピアランスケアについて	ニーズの把握について (1)がん患者やその家族を対象とした調査やヒアリングを町として行ったことがあるか。 (2)アピアランスケアを必要としている住民がどの程度いるか、どのようなニーズがあるか把握しているか。	町長
			情報提供について (1)病院や保健センターなどで、アピアランスケアに関する情報を提供しているか。 (2)どのような方法で情報が提供されているか。	町長
			③ アピアランスケアの助成はできないか。	町長
		3 産後ドゥーラについて	① 町内における産後うつや虐待のリスク、孤立した育児の現状について、町としてどのようなデータを収集し、課題を認識しているか。	町長
			町の認識、周知について (1)産後ドゥーラはどのような役割を担う専門職であるか、町の認識を聞きたい。 (2)産後ドゥーラの存在や利用方法について、母子手帳交付時や両親学級、保健センターなどで周知する考えはあるか。	町長
			支援について (1)すでに実施されている産後ケアはあるが、産後ドゥーラによる支援事業は行えないか。 (2)産後ドゥーラの利用にかかる費用に対する助成制度を検討する考えはあるか。	町長